

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
ビーズのツリー	高	美術 Ⅱグループ (美術)	鈴木 裕子

<ねらい>

- ・ビーズを色分けすることができる。
- ・穴を意識しながらビーズをワイヤーに通すことができる。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

1. ビーズを色分けする
色分けできる生徒は、3色くらいの種類が混ざりあったビーズを分けていきました。
2. ワイヤーに通していく
生徒の実態によって、ビーズの大きさを変えたり、補助具を使ったりして、ワイヤーにビーズを通していく。
長さの違う物を数本作る。



3. ツリー型の土台にビーズを組み合わせてワイヤーで留めていく(教師作業)
このグループの生徒は、難しいと考えられたので教師で仕上げを行った。



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

自分でビーズを選んだり、穴を意識してワイヤーに通したりして自分でできる作業を集中して取り組む姿が見られました。片手でワイヤーを持って作業を行うことが難しい生徒には、補助具を作成し、1人でできるように工夫をしました。作業の手順を理解すると、自分でビーズを一つずつつまんで、穴に通す作業を継続して行うことができました。

<その他(材料、費用、購入先等)>

木製ビーズ ・ ワイヤー ・ ツリー型のブックエンド(100円ショップ)